

## ルールと時間を守り、思いやる心と社会性を養う生活指導

### ■ 就労体験 ～地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業～

#### 5日間の職業体験を通して生き方を見つめなおし、社会の規則を学ぶ

主な事業所：美容室・ホテル・病院・保育園・児童館・会計事務所・設計業務店・塗装工務店  
精密機器工場・コンビニエンスストア・木材店・ゴルフ場・文具店・牧場・消防署 など



#### 生徒の声



#### 嘉瀬 莉恵

(朝霞市立朝霞第五中学校)

私が体験した仕事は、主に看護師の仕事とヘルパーさんという看護助手の仕事の体験をしました。

どちらのお仕事も体験してみて、体力的に疲れることはもちろんのことでしたが、精神的にもきつい場面が多々あったので、とても大変な仕事なんだと、感じました。ですが、たくさんの患者さんとお話することもできるので、楽しくてとてもやりがいのある仕事だと思います。

これらの体験から、私は、とても良い経験をすることができました。なかなか体験することのできない看護師の仕事を五日間も体験することができて、本当に良かったです。そして、社会で働くことの大変さを改めて学ぶことができました。これから将来、自分がどんな職業に就きたいか考えながら、充実した高校生活を過ごしたいと思います。

### ソーシャルスキルトレーニング

就労体験活動の効果をより高めるための一つの方法として、ソーシャルスキルトレーニングを行っています。あいさつができる、上手に人の話を聴ける、知らないことを質問できる等、人が人として社会の中で生きていく基本的な社会的能力を育てるとともに自己有用感や社会参画意識を育てます。

### ■ 主権者教育

平成 27 年に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が満 20 歳以上から満 18 歳以上に引き下げられました。それに伴い和光高校では、生徒会役員選挙の際に、「模擬選挙」を実施しています。生徒は、実際に選挙で使用されている記帳台や投票箱などを用いて、緊張感のある状況のもとで真剣に取り組んでいます。

この主権者教育は、単に選挙の仕組み・在り方についての知識を習得させることにとどまらず、物事を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力や根拠をもって自分の考えを主張する力を育むことを目指しています。

このような学習を通じて、社会を構成する一員としての意識を高めることをねらいとしています。



### ■ 情報リテラシー教育



現代の情報社会で生きていく生徒達が安全に、正しく情報を取り扱うことができるよう本校では情報リテラシー教育に力を入れています。

日々の啓発活動に加え、外部から講師を招きインターネットや SNS の正しい活用の仕方を学んでいます。一昨年度は LINE 株式会社の社員の方を招きスマートフォンの適切な使用について、学びました。